

# 那珂川 NEWS

# 9

## 育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

おかげさまで好評!

### 4号特例縮小セミナー開催

#### 新たな法改正への対応について

8月2日(金)「かみす防災アリーナ」にて茨城木材相互市場・江間忠ウッドベース鹿島・江間忠ソレックス共同主催による『改正建築物省エネ法・改正建築基準法セミナー』を開催しました。

当日は、販売店・工務店・設計事務所・関係者含め計84名の方に参加していただきました。参加申し込み者が、定員オーバーにより急遽、ZOOMによる受講を受けていただく方もいらっしゃいました。

講師は、株式会社KIXAS(キクサス)清本泰弘氏をお招きして、省エネ基準適合の義務化(2025年4月1日以降に着工)、建築確認手続きの見直し、壁量計算・柱小径等の見直し(2025年4月施工 なお、1年間、現行の壁量基準等を適用可能とする経過措置あり)についてお話をいただきました。

セミナー参加者の方からは、大変好評をいただきました。又、法改正後の構造・省エネに関して、不安を抱いている方もいらっしゃいましたが、弊社サポートセンター(2024年4月より構造計算業務開始)並びに江間忠ウッドベース鹿島にて設計協力できる体制を整えていますので、ご不明な点やお困りごとがありましたら弊社営業担当へご連絡くださいますようお願い申し上げます。

当日は暑さの厳しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。



### R6年上期住宅着工概況

茨城県内の持家 前期比89.7%

	計	持家	貸家	給与	分譲
全国	391,026	102,025	167,285	3,098	118,078
前期比	95.5%	92.5%	99.4%	124%	92.3%
茨城	7,819	3,363	2,650	33	1,773
前期比	94.6%	89.7%	102.4%	165%	92.8%

令和6年上半期新設住宅着工は、全国計で持家・貸家・分譲が減少したため前年比で95.5%となり特に持家・分譲が約8%の減少と大きく影響しました。

茨城県を見てもみると全国とほぼ同じく、持家・分譲が減少し、貸家が増えました。

特に持家が前年比89.7%と大きく減少し分譲も92.8%と全国並みの減少幅となりました。

下期は上期同様、住宅着工は持家・分譲住宅が苦戦し、貸家が堅調に推移すると思われます。

今後の見通しとしては、短期・長期の金利上昇傾向であることと、住宅資材、特に建材・住器・コンクリート等の値上がりが行われますので、建築コストはまだまだ上昇すると思われます。これに伴い請負金額の上昇はまだまだ続きますので、消費者マインドとしては、新築は様子見で、賃貸物件若しくは中古住宅等へ需要がシフトしていくと思われます。

又、実質賃金上昇が後追いする形になりますので、3年から5年は厳しい状況が続くと思われます。

これからの営業対策として、一棟当たりの納材品目を増やす事と、リフォーム物件への提案力を強化することが必要になると思います。



9/13(金)

🍱 昼食 12時～

🔔 セリ開始 13時～

🎁 セリ終了後に高級酒をプレゼント

### ■わたしたちの使命 (SDGs)

(茨城木材の社会的役割)



「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる  
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い「住環境」を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



令和6年7月新設住宅着工					
	計	持家	貸家	給与住	分譲住
全国	68,014	19,858	31,546	446	16,164
前期	100.3%	94.5%	103.3%	140.8%	100.7%
茨城	1,291	642	493	4	152
前期	101.2%	93.2%	121.5%	330.0%	87.2%

県内市別の状況及びR5年度累計は弊社Facebookをご覧ください。

## 農林水産省

## 製材のJAS規格見直しへ

## 曲げヤング係数基準変更で合理化

農林水産省は、製材など3規格のJAS改正に動いており、年内にも告示する見直しになっている。既存のJAS規格はおおむね5年ごとに見直ししており、今回は製材とCLT、フローリングで一部改正となる。製材JASは品質改善とともに取引の円滑化につなげる内容で、曲げヤング係数の基準変更などが盛り込まれている。

規格見直しについては、農林水産消費安全技術センターが農林水産省に提出した見直し原案が7月16日開催のJAS調査会で審査、承認されている。

製材JASについては、曲げヤング係数の基準値変更を実施する。機械等級区分構造用製材で求められる曲げ試験によって算出される曲げヤング係数の基準は、現行では上側と下側の範囲で管理しているが、上限を超えても強度性能に問題がなく、管理も煩雑になることから平均値と弱いものを除外することになる。(表①)。

■表①  
現行基準

等級	曲げヤング係数	
	(下側)	(上側)
E50	3.9以上	5.9未満
E70	5.9以上	7.8未満
E90	7.8以上	9.8未満
E110	9.8以上	11.8未満
E130	11.8以上	13.7未満
E150	13.7以上	

新基準

等級	曲げヤング係数	
	(平均)	(下側)
E50	5.0	4.0
E70	7.0	6.0
E90	9.0	8.0
E110	11.0	10.0
E130	13.0	12.0
E150	15.0	14.0

出典：農林水産省「製材の日本農林規格の改正案」

製材工場からは「設計上E110に当てはまる材料でまとめる必要があった場合、数量が足りず強度が高いものを入れるとJAS認証試験に受からなかった。産地によって強度にばらつきがあるため、上限をなくしてもらえると材料をそろえやすい」との指摘がある。

また、機械等級区分構造用製材で大断面製材の利用が増えてきていることもあり、曲げ試験におけるスパン(18倍未満)で係数を新設する。これは大断面製材で試験のために長大な製材を必要とすることから試験製材の製造が困難だったり、試験可能な設備が制限されたりすることを見直すもの(表②)。

■表②

スパンの試験製材の木口の短辺に対する比		係数
9超	10以下	1.099
10超	11以下	1.074
11超	12以下	1.055
12超	13以下	1.041
13超	14以下	1.029
14超	15以下	1.020
15超	16以下	1.012
16超	17以下	1.005
17超	18以下	1.000
18超	21以下	0.988
21超	24以下	0.981
	(略)	(略)
54超	57以下	0.960
57超		0.960

新設

出典：農林水産省「製材の日本農林規格の改正案」

そのほかには、製材選別の負担軽減や効率化のために目視等級区分構造用製材の定義に材面測定機器を組み合わせて管理できるようにするほか、寸法許容差を合理化する。

具体的には造作用製材の未仕上げ材(KD)の寸法許容差はプラス5 $\mu$ m(現行木口断面は75 $\mu$ m未満ならプラス2 $\mu$ mなど)に、構造用製材(SD20)で木口の短辺及び長辺の寸法許容差をマイナス0.1 $\mu$ m(現行はマイナス0 $\mu$ m)にして基準を合理化する。造作用は加工前提で歩増しで製材したり、構造用は製材後の自然乾燥で収縮したりすることを考慮して実態に合わせる。

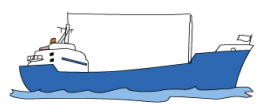
一方、CLTも製材と同じように目視等級区分ラミナの定義を改正してラミナ選別の負担軽減などを図るほか、寸法許容差の基準を改正する。フローリングは、単層フローリングにも遮音や防音、防振等を図るために裏面に張り付ける材料があるため、これらを新たに加えた定義にする。

なお、これら3規格のJAS改正の告示は年内を予定している。施行時期は現段階では未定だが、改正内容が多いこともあって半年程度の経過措置を講じる方向にある。

# 輸入材コーナー

## 外材8月基準相場

e-mail : gaizai@ibamoku.co.jp



品名	規格	基準相場
桧防腐土台	4.00 × 9.0 × 9.0	90,000
	4.00 × 10.5 × 10.5	90,000
	4.00 × 12.0 × 12.0	90,000
米樺 内地挽 KD	4.00 × 9.0 × 4.5	105,000
	4.00 × 4.5 × 4.5	105,000
米松 KD	4.00×9.0/10.5/12.0	100,000
米松 KD	3.00/4.00×15.0~27.0	85,000
米松 KD	3.00/4.00×30.0~36.0	90,000
RW 集成	3.00/4.00/5.00/6.00×450 迄	93,000
赤松 垂木	4.00×4.0×3.0	108,000
赤松 胴縁	4.00/4.5×15/18	105,000
WW 間柱	3.00/4.00×120×30/45	78,000
	3.00/4.00×10.5×30/45	78,000

8月に入り、お盆休み明けからの構造材の出荷や見積りが増えてきました。東京木材埠頭の在庫量は、米加材4万m<sup>3</sup>、欧州材6万1千m<sup>3</sup>、ロシア材1万9千m<sup>3</sup>、その他3万1千m<sup>3</sup>、合計15万m<sup>3</sup>を超えてきている状況です。最も多いのは欧州材となり、現在入港している製品の価格は最高値の製品となっていますが入荷と出荷のバランスが合わず、製品の価格は逆ザヤ状態となっています。ロシア赤松製品に関しましては、依然として入荷は少ないものの、国内需要の停滞が続いている状況です。現地でも中国向けも販売不振の為、夏切り丸太の出材も少ないことから今後も製品の値下がりなどはないと思われます。(神)

# 建材コーナー

e-mail : kenzai@ibamoku.co.jp

## 合板市況 2024.9

T2(F4)2.3	3×6	1,430	→	ラン構造用 (輸入)	9 ｼ	2,340	→
T1(F4)3	3×6	1,670	→		12 ｼ	3,050	→
T1(F4)4	3×6	1,720	→	針葉樹	9 ｼ	2,100	↑
T1(F4)5.5	3×6	1,880	→	針葉樹	12 ｼ	2,450	↑
輸入 JAS	3×6	2,540	↑	針葉樹	24 ｼ	4,900	↑
塗 装 (ウレタン)	2×6	2,190	↑	針葉樹	28 ｼ	5,350	↑
	3×6	2,680	↑	※針葉樹 24・28 ミリ実付は 50 円 UP			

(注)建材コーナーのみ工務店価格となっております。

## 概況

国内合板市況については、低調な荷動きが続く中、例年の需要までの回復は見込めていません。しかしながら一部ハウスメーカーの受注状況も底を脱して上向いている兆しも見受けられ、集合住宅・非住宅物件についても着工数は減っておらず、堅調な動きで推移しております。また各メーカー生産に対して出荷待ちの状況もあり、9月以降の動きについても上向き予測も出てきております。

輸入合板については、原木の不安定な入荷状況の中、在庫量についても少ない状況が続いており、コンテナ不足、運賃コスト上昇もあり、価格、商品の確保について今後も注意が必要になって来るかと思えます。(宮)

## 今日の一言

二言?



### 水のようになれ!

by ブルース・リー

香港人の中国武術家・俳優

「断言するな。対象に合わせろ。

そうすれば何か方法が見えてくる」と続く。



### 人は何か自分が

### 失ったものを

### バネに生きている

by 藤原 和博

教育者(義務教育初の民間校長)

「正解至上主義」の日本の教育に疑問をもつ。



### 自分を信じて

### 自分のためにやんな

### それが

### チームのために

### なるんだよ

by 宇津木妙子

元全日本女子ソフトボール監督

シドニー・アテネと日本代表監督として

二度の五輪でメダルを獲得した。



# 本社 8 月 基準 相場

e-mail : mokuzai@ibamoku.co.jp

品名	規格	グリーン材基準相場		KD材基準相場	
		特等	1等	特等	1等
杉正角	3.00×9.0×9.0	42,000	35,000	70,000	
	10.5×10.5	45,000		65,000	B品 45,000
	12.0×12.0	42,000		60,000	B品 40,000
	4.00×9.0×9.0	45,000	36,000	85,000	
	10.5×10.5	45,000	36,000	75,000	
	12.0×12.0	45,000	36,000	70,000	
	6.00×12.0×12.0	100,000	上小 180,000	135,000	
	7.00×12.0×12.0	110,000	上小 200,000	165,000	
杉平割	3.00×10.5×3.0/4.5	58,000		70,000	
	3.00×12.0×3.0/4.5	58,000		65,000	
	4.00×10.5×3.0/4.5	58,000		80,000	
	4.00×12.0×3.0/4.5	58,000		75,000	
桧正角	3.00×9.0×9.0	60,000		80,000	
	3.00×10.5×10.5	70,000		80,000	
	3.00×12.0×12.0	70,000		75,000	
	4.00×9.0×9.0	75,000		95,000	
	4.00×10.5×10.5	75,000		85,000	
	4.00×12.0×12.0	75,000		80,000	
	6.00×12.0×12.0	140,000	上小 250,000	165,000	
	7.00×12.0×12.0	200,000	上小 300,000	235,000	
杉平割	3.65×4.0×3.0	60,000	モダ -	4m 85,000	
巾板	3.65×4.5×1.4	58,000	48,000	4.00×4.5×1.5	90,000
	3.65×4.5×1.8	58,000		4.5×1.8	90,000
	9.0×1.4	55,000	45,000	9.0×1.5	90,000
	9.0×1.8	58,000	45,000	9.0×1.8	90,000
	10.0×1.4	58,000	45,000	10.0×1.4	90,000
杉板	3.65×15.0~21.0×2.4	53,000		4.00×21.0×2.4	80,000
	1.82×15.0×1.2	38,000		〈杉本実目透加工板〉	
小割	3.65×3.0×2.4	60,000	35,000	3.65×10.5×1.2	特等 束 6,000
杉瓦棧	3.65×1.8×1.8	本 80			ム上小 束 9,000

## プレカットコーナー

8月のプレカット工場の稼働状況は、お盆月ということもありますが例年以上に落ち着いた動きとなりました。

9月以降は徐々に物件も増えてきておりますが、工場によっては米松KD材の在庫が品薄な所がございます。梁成300以上の材料や5m材・6m材、120巾材に関しましては特に品薄となっております。

物件の納期によっては先行発注や材種変更が必要となりますので、材料発注や問い合わせはお早めにご連絡くださいませうお願い申し上げます。(明)

## 木材市況

8月は盆月ということもあり、住宅着工数も少なく、製材メーカーからの入荷量も控えめであったと思います。製品の流通も例年同様、非常に低調に推移しており今後の動向に目が離せない状況であります。原木に関しましても価格的に落ち着きを見せており、杉桧共にKD構造材、羽柄材の流通が低調な事から製品価格の低下が予想されます。グリーン材も同様であり、今後適切な価格の維持を心掛けつつも、市況に合わせた販売がマストになっていくのかと思います。製品の欠品を極力抑え、納期の完遂を念頭に置いて9月からの秋需に期待したいところです。(河)

## 〔市日予定〕

公式 SNS にて最新情報をお届けします！是非ご覧下さい！

Instagram



Facebook



〈 本 社 〉

9月13日 (金) 記念市  
13:00 せ/開始

〈 つくば 〉

9月5日(木) 記念市  
9月19日(木) 記念市